

令和8年5月29日  
上下水道交通委員会要求資料について  
(交第1号議案 横浜市乗合自動車乗車料条例の一部改正)

令和8年5月29日上下水道交通委員会において要求のありました資料について、次のとおり提出いたします。

## 1 公明党

資料1 市内民間事業者及び政令市公営事業者との運賃比較

資料2 運賃値上げに至るまでの議論の経過

資料3 中東情勢の影響を踏まえた今後の収支見通し

資料4 これまで行ってきた経営努力《資料6》

資料5 ここ数年での路線の事業者変更

## 2 立憲党

資料6 これまでの企業努力の取組内容や改善数値等《資料4》

資料7 平成9年度運賃改定と今回の運賃改定における総括原価比較

資料8 平成9年度以降の営業費用の推移

## ◆市内民間事業者及び政令市公営事業者との運賃比較

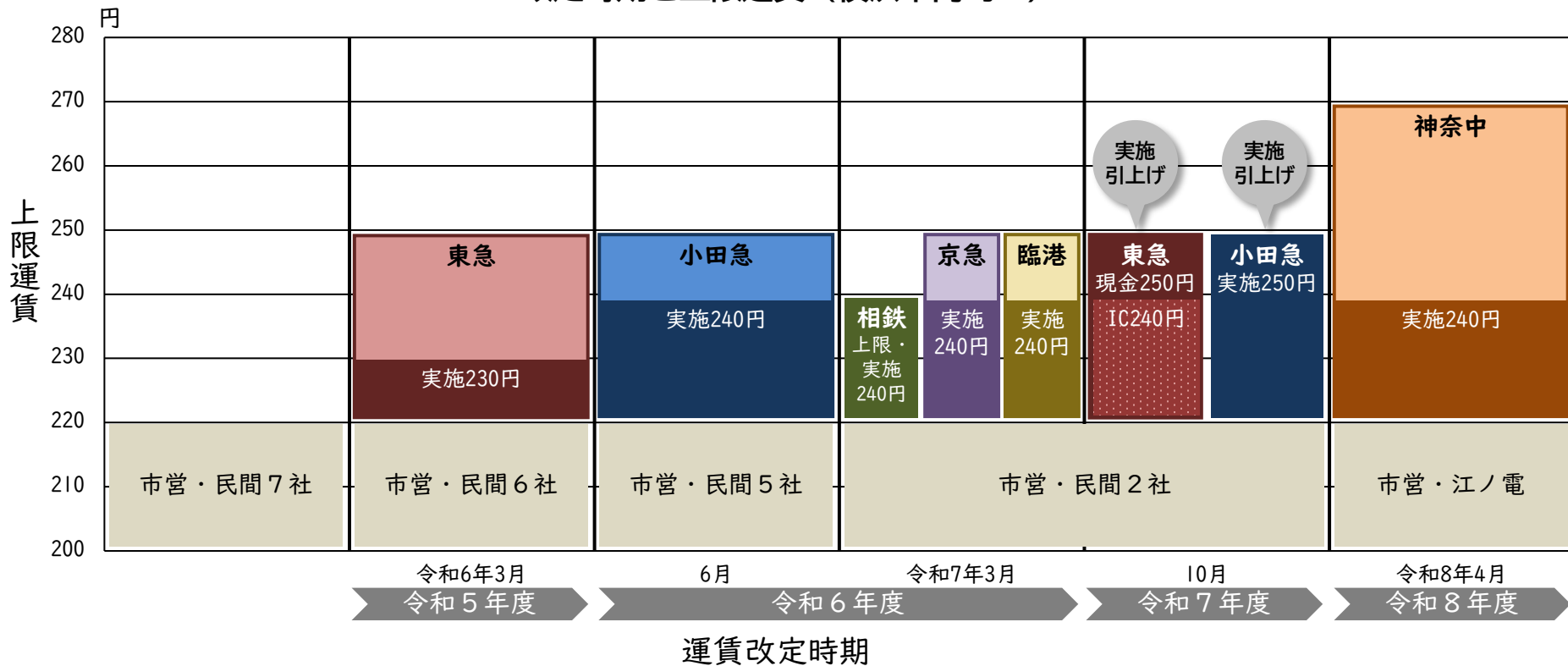
事業者	改定日	従来実施	改定後 実施運賃	改定後 上限運賃 ※1
小田急	令和6年6月1日	220円	240円	250円
	令和7年10月1日	240円	250円	250円（上限改定なし）
東急	令和6年3月24日	220円	230円	250円
	令和7年10月1日	230円	現金250円・IC240円	250円（上限改定なし）
相鉄	令和7年3月15日	220円	240円	240円
京急	令和7年3月18日	220円	240円	250円
川崎鶴見臨港	令和7年3月18日	220円	240円	250円
神奈中	令和8年4月4日	220円	240円	270円
江ノ電	（均一区間未実施）	220円	—	—
横浜市営	（未実施）※2	220円	—	—

※1：一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもいいとされる運賃の上限額（国土交通省が審査の上認可）

※2：横浜市営バスの直近改定（消費税率改定に伴うものを除く）：平成9年9月1日

# ◆市内民間事業者及び政令市公営事業者との運賃比較

<改定時期と上限運賃（横浜市内均一）>



## ◆市内民間事業者及び政令市公営事業者との運賃比較

都市	改定日	運賃	
		大人	小児
仙台市	令和元年10月	初乗り160円	初乗り80円
	令和8年10月改定予定	初乗り190円	初乗り100円
東京都	令和元年10月	210円	現金110円 IC105円
川崎市	令和4年10月	220円	110円
名古屋市	平成26年9月	210円	100円
京都市	平成26年4月	230円	120円
神戸市	令和6年10月	230円	120円
横浜市	令和元年10月	220円	110円

## ◆運賃値上げに至るまでの議論の経過

	議題	主な内容
令和7年8月7日 第8回市営交通経営審議会	市営交通中期経営計画2023-2026の 令和6年度振り返りについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度決算を踏まえた市営交通中期経営計画の中間振り返りの報告</li> <li>委員より、中期経営計画の収支見通しと実績に差異が生じてきていることから、収支見通しを見直すべきとの意見</li> </ul>
令和8年1月15日 第9回市営交通経営審議会	中期経営計画収支見通しの見直し について	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度決算や令和7年度の状況、令和8年度予算を踏まえ、市営交通経営審議会に収支見通しの見直しを説明</li> <li>バス事業において、物価高騰や人件費水準の上昇などの影響から、経営健全化団体となる年度が、当初計画時は令和12年度であったものが、令和10年度に2年前倒しとなる見込み</li> <li>委員より、早期の運賃値上げの必要性について言及</li> </ul>
令和8年2月13日 下水道河川・水道・交通 委員会	横浜市営交通経営審議会の開催に ついて（報告）	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9回市営交通経営審議会でも説明した収支見通しと委員からの意見を説明（令和10年度には経営健全化団体となる可能性）</li> <li>経営審議会委員から、運賃改定の必要性について言及があったことを報告</li> <li>市営バスにおいても運賃改定の検討に着手することを表明</li> </ul>
令和8年3月11日 下水道河川・水道・交通 委員会	市営バスの経営改善について （報告）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度の敬老パス負担金単価増（135円→141円）を反映すると経営健全化団体となる年度が令和10年度から令和11年度へ1年後ろ倒し（効果は限定的）</li> <li>経営改善を図るために実施運賃を10～15%程度の引き上げるための条例改正案を市会第2回定例会に提案することを説明</li> </ul>

## ◆中東情勢の影響を踏まえた今後の収支見通し

### 《主な政令市の軽油調達単価（税抜）》

A市	154.3円/ℓ	（一般競争入札）
B市	129.1円/ℓ	（随意契約）
C市	132.0円/ℓ	（随意契約）
D市	139.8円/ℓ	（随意契約）
E市	139.0円/ℓ	（随意契約）

※各都市、ホルムズ海峡封鎖の影響が出始めた4月以降に契約

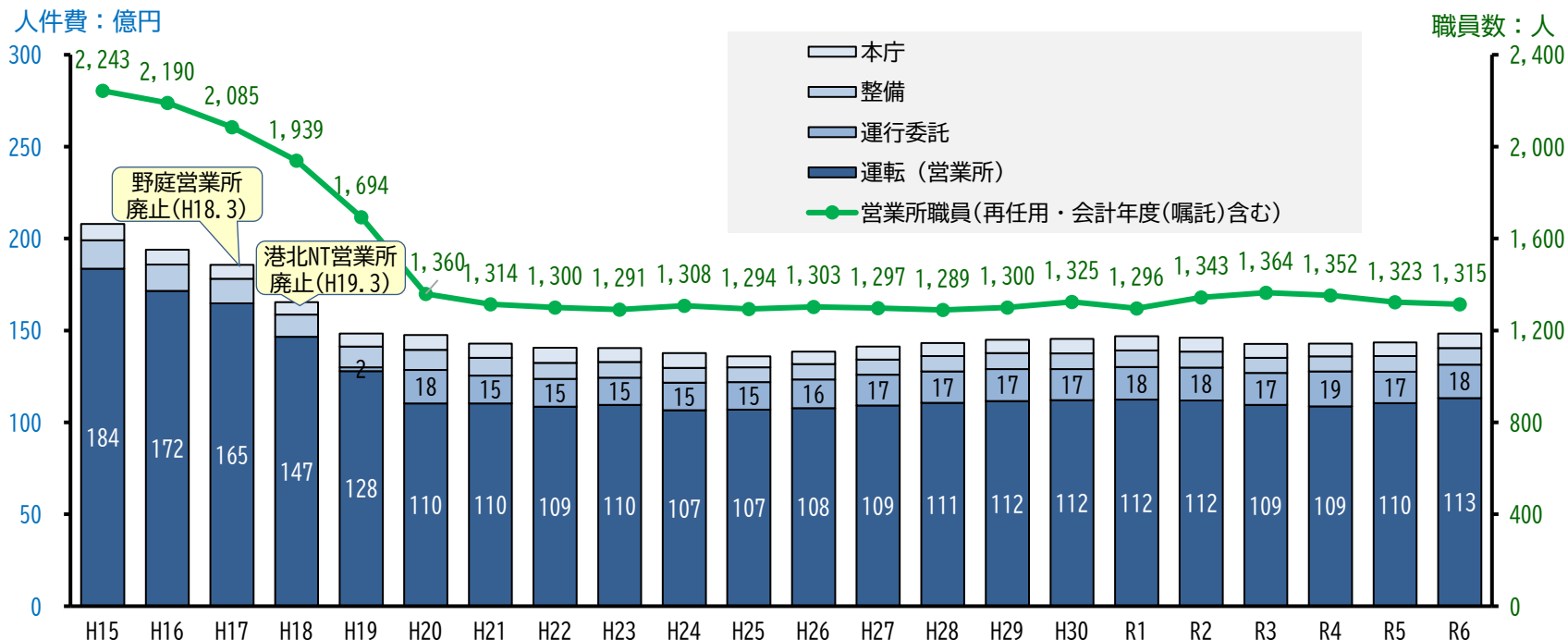
各都市の契約状況を踏まえ、本市における契約単価が130円となった場合  
（8年度予算から約3割単価上昇となった場合）



動力費への影響として約3億円の増加となり、収支悪化が見込まれる  
（動力費8年度予算ベース 11.1億円→14.4億円（税込））

## ◆これまで行ってきた経営努力

＜平成15年度以降の職員数と人件費（退職金除く）の推移＞



現業職給料表を5%ベースダウン(継続)

現業職給料表を更に最大6%引き下げ (H25.4までに段階的实施)

給与カット(本庁5%、現業2%)

民間水準を考慮した新たな給料表(2割減)による採用再開

管理の受委託(バスの運行委託)開始(磯子・緑営業所:H20.2~)

# ◆これまで行ってきた経営努力

## <資産の有効活用（貸付）>

廃止した営業所の跡地を貸し付けるなど、所有資産(土地)を有効活用



野庭営業所跡地  
スーパー・ドラッグストア(H20～)  
R6決算 8,742万円



港北ニュータウン営業所跡地  
企業事業所(H21～)  
R6決算 9,913万円

資産活用収入  
H15決算  
3,049万円

資産活用収入  
R6決算  
2億9,720万円

# ◆これまで行ってきた経営努力

## <令和5年度における主な増収・経費削減の取組>

	取組名	事業	取組内容
増収	みなとぶらりチケット販売促進	バス 地下鉄	・「ポケモン」「横浜春節祭」などとのタイアップにより、6種類の限定デザインのチケットを販売。 ・特典提携店は、年度当初75か所が、年度末には120か所を超え、約1.5倍に増加した。
	広告事業の推進	バス 地下鉄	・各媒体のニーズや傾向に合わせてキャンペーンを実施するとともに、車内ビジョンやデジタルサイネージ等のデジタル媒体や応援広告といったトレンドをとらえた広告出稿が多くあったことに加え、駅改良工事等による新設媒体で収入を確保した。
	企業貸切の推進	バス	・学校貸切の新規受注、夏期の通勤輸送の新規受注。 ・公示運賃引き上げに伴う契約更新。
経費削減	バス接近表示サービスの見直し	バス	・ADSL回線廃止・機器の老朽化に伴い、バス停の接近表示装置のサービスを終了し、スマートフォン等による接近表示サービスを推進し、お客様サービスの維持向上を図った。
	バスネットワークの最適化	バス	・お客様の利用状況に応じたバス路線への最適化。 ・民間バス会社との連携（83系統を相鉄バス（株）へ移譲）。
	年末調整事務の外部委託化	バス 地下鉄	・WEB申告化及び外部委託化を開始し、職員の確認・入力作業が不要となり、本業務に係る超過勤務を削減した。

	達成状況	目標値
バス事業の企業努力による収支改善額	1.1億円	1.5億円

## ◆これまで行ってきた経営努力

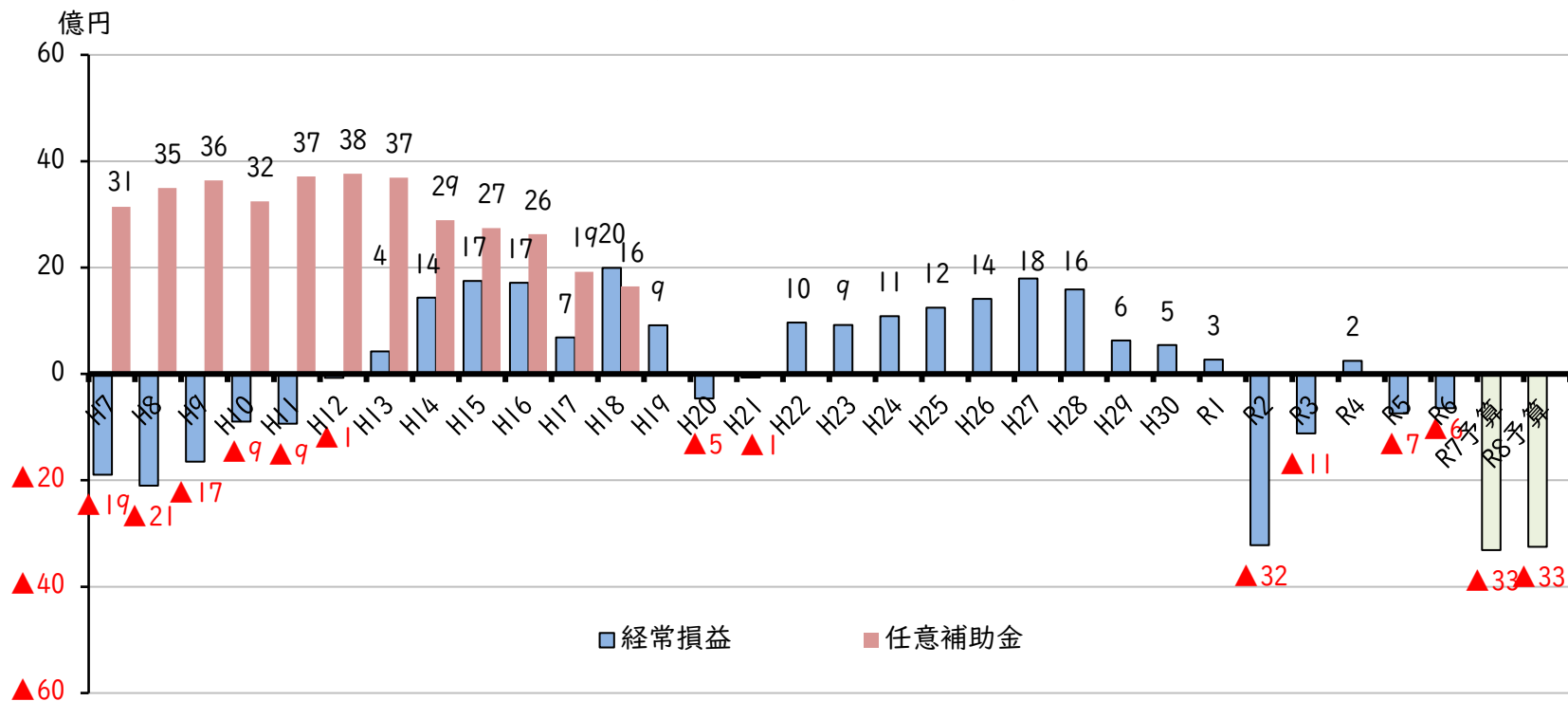
### <令和6年度における主な増収・経費削減の取組>

	取組名	事業	取組内容
増収	広告事業の推進	バス 地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市施策のPRとして、バスでは100両のラッピングバス、地下鉄ではアドトレインや階段ステップ広告等を実施し、広告料の大幅な増収につながった。</li> <li>・令和6年4月から販売を開始した横浜駅デジタルサイネージをはじめとするデジタル媒体（車内ビジョン・サイネージ）の投稿が好調により増収となった。</li> </ul>
	あかいくつバス	バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかいくつ20周年のアニバーサリーイヤーに合わせ、市内のイベントに出展することで露出を増やし、認知度を向上させた。</li> <li>・横浜出身の秦基博さんや、日向坂46とのタイアップを実施し、単なる移動手段ではない付加価値を付けた企画により乗車人員の増加に繋がった。</li> </ul>
	市営バス・部品販売	バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東急百貨店バスグッズフェア」等のイベントや「バスマニアックス（ECサイト）」で、使わなくなったバスの部品や備品を職員できれいにし、ファンの皆様向けに販売した。</li> </ul>
経費削減	中山駅前バス定期発売所の廃止	バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期券の取扱件数が減少しているなどの状況を鑑みて、経営資源の適正化の観点から、中山駅前（北口）のバス定期券発売所をR6.10月末に廃止した。</li> </ul>
	ペーパーレスの推進	バス 地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の使用感覚を共有するため、本庁の紙、複合機の毎月の使用実績データを周知した。</li> <li>・会議、打合せの一層のペーパーレス化を徹底した。</li> </ul>

	累積達成状況	目標値
バス事業の企業努力による 収支改善額	2億円	1.5億円

## ◆これまで行ってきた経営努力

＜経常損益と任意補助金の推移＞



## ◆ここ数年での路線の事業者変更

実施時期	対象路線	主な運行エリア	対応状況	事業者
令和3年10月	75系統（鶴ヶ峰駅南口～くぬぎ台団地）	旭区くぬぎ台地区	移譲	相鉄バス
令和4年10月	44系統（横浜駅西口～八反橋～横浜駅西口）	神奈川区羽沢地区	移譲	相鉄バス
令和5年7月	40系統（若葉台中央～長津田駅前）※神奈川中央交通との共同運行路線	緑区長津田地区	撤退	神奈川中央交通
令和5年10月	83系統（横浜駅西口～上菅田東部公園）	神奈川区羽沢地区	移譲	相鉄バス
令和6年10月	136系統（中山駅前～よこはま動物園）	旭区上白根地区	移譲	相鉄バス

## ◆平成9年度運賃改定と今回の運賃改定における総括原価比較

(千円)

		平年度	
		平成9年（前回）	令和9年（今回）
運送費	人件費	26,639,643	14,056,871
	燃料油脂費	1,265,098	973,946
	車両修繕費	660,706	794,378
	車両減価償却費	1,319,690	1,762,031
	その他運送費	2,860,940	4,256,982
小計		32,746,077	21,844,208
一般管理費		1,037,023	575,205
営業外費用		734,419	325,652
合計		34,517,519	22,745,065

## ◆平成9年度以降の営業費用の推移

